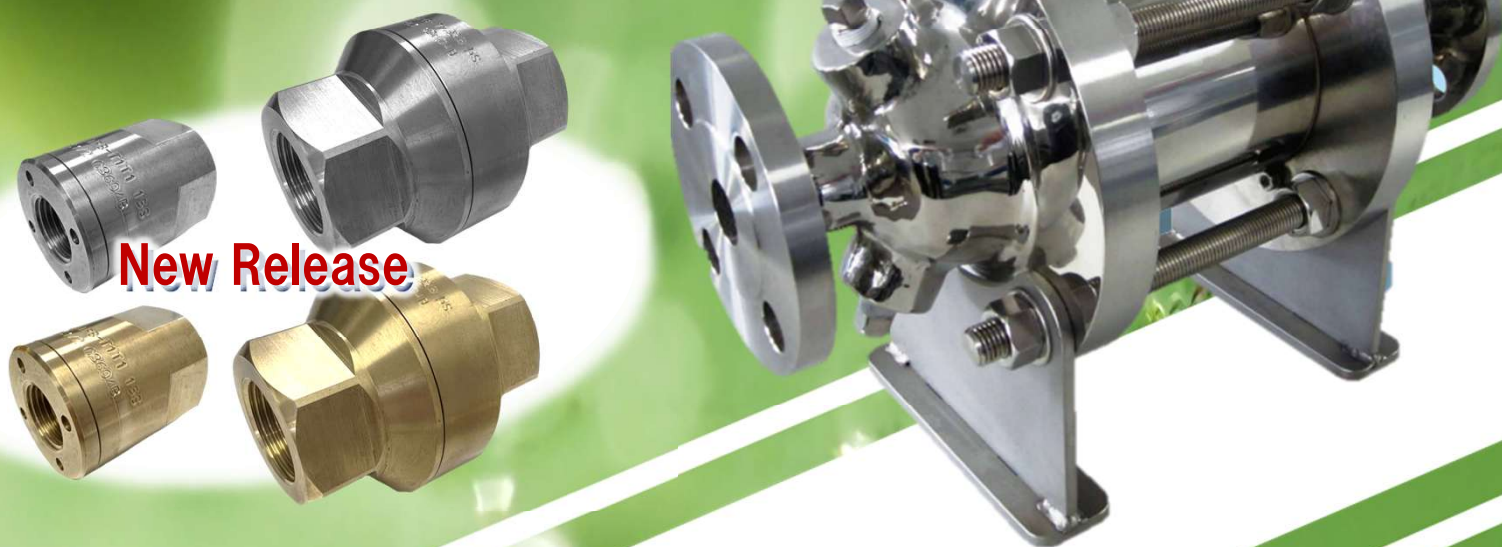


次世代エネルギー対応 インライン型 フレームアスタ (MODEL:6020)



水素ガス (group II C) 対応型

- 水素ガスは爆発グループII C※に分類され非常に燃えやすく、少量の点火源でも爆発する可能性があり適切な安全対策が必要
※爆発性ガスの分類で最も高いグループ
- 爆発グループII C以外のII A, II B3, II Bなどのガスにも対応
- ねじ込み接続タイプはII A対応型

双方向の外部着火源から火炎逸走を防止

- プラント内外で発生した火災の際に火炎の伝播を消炎し深刻な2次災害の発生を防止
- 出入口が対象構造となっており双方向からの火炎逸走を防止
- 水平・垂直方向どちらでも設置・使用可能

クリンプリボン式の消炎素子を使用

- クリンプリボン(波型構造部品)は薄い金属製の波板と同一素材の平板を交互に重ね合わせて間隙を構成し、爆発グループ(使用されるガス)により仕様を決定
- 材質はSUS316Lのみ



国際標準規格ISO/IEC80079-49に準拠

- 当社のクリンプリボン式フレームアスタは、ISO/IEC80079-49(旧規格ISO16852) に定める試験ガスで実施
- 性能確認試験はISO/IEC80079-49(旧規格ISO16852)に準拠

Rc1・Rc1/2ねじ込み接続タイプ新ラインナップ **New**

- 社内試験場において“消炎性能試験”を実施
- 爆発グループII Aに対応

- 当社のクリンプリボン式フレームアレスタは、ISO/IEC80079-49 Flame arresters -Performance requirements, test methods and limits for useに定める試験ガスで行っています (表1.参照)
- 性能確認試験はISO/IEC80079-49に準拠して行っています

表1. デフラグレーション及びデトネーション試験のガスの種類と濃度

爆発グループ Explosion group	ガスの種類 Gas type	ガスの性状 Gas purity by volume %	空気中のガス濃度 Gas in air by volume %
II A1	メタン Methane	≧98	8.4±0.2
II A	プロパン Propane	≧95	4.2±0.2
II B1	エチレン Ethylene	≧98	5.2±0.2
II B2			5.7±0.2
II B3			6.6±0.3
II B	水素 Hydrogen	≧99	45.0±0.5
II C			28.5±2.0

■ 型式呼称

型式: 6020-□□□□-□□□□-□□□□□□

燃焼タイプ	本体タイプ	本体材質	接続規格	本体サイズ	接続口径	クリンプリボン
DT (デトネーション)	C (植物エチレン)	2 (S45C)	010 (JIS10K-FF)	01 (15A)	01 (15A)	仕様により選定
DF (デフラグレーション)		3 (SUS13)	011 (JIS10K-RF)	02 (20A)	02 (20A)	仕様により選定
		4 (SUS14)	150 (JPI-150LB)	03 (25A)	03 (25A)	
		6 (SUS16)	300 (JPI-300LB)	04 (40A)	04 (40A)	
				05 (50A)	05 (50A)	
				08 (80A)	08 (80A)	
				10 (100A)	10 (100A)	
				15 (150A)	15 (150A)	

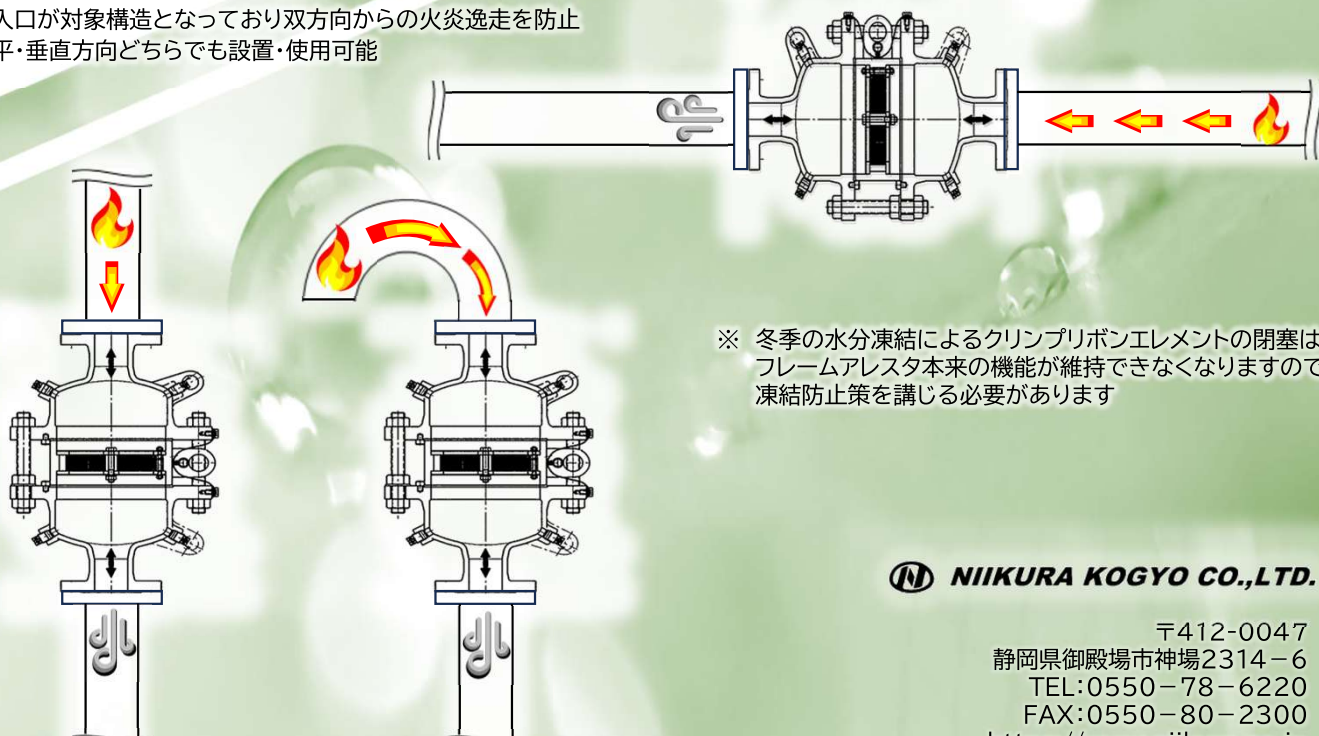
型式: 6020-□□□□-□□□□□□

燃焼タイプ	本体タイプ	本体材質	接続規格	本体形状 (JIS10K準拠)	本体サイズ	接続	クリンプリボン
DT (デトネーション)	P (配管用)	B (C3604B)	T (標準フランジ)	1 (ネジ込)	0 (10A用)	00 (Rc(G)3/8)	仕様により選定
DF (デフラグレーション)	L (ロストワックス)	3 (SUS304)	S (標準フランジ)	2 (ボルト固定)	1 (15A用)	11 (Rc(G)1/2)	仕様により選定
		4 (SUS316)			2 (20A用)	22 (Rc(G)3/4)	
		6 (SUS316L)			3 (25A用)	33 (Rc(G)1)	
					4 (40A用)	44 (Rc(G)1-1/2)	
					5 (50A用)	55 (Rc(G)2)	



■ 設置例

出入口が対象構造となっており双方向からの火炎逸走を防止
水平・垂直方向どちらでも設置・使用可能



※ 冬季の水分凍結によるクリンプリボンエレメントの閉塞はフレームアレスタ本来の機能が維持できなくなりますので凍結防止策を講じる必要があります

NIKURA KOGYO CO.,LTD.

〒412-0047
静岡県御殿場市市場2314-6
TEL:0550-78-6220
FAX:0550-80-2300
<https://www.niikura.co.jp>